

# 令和3年度 小値賀町地

## 原 知沙（学校給食）

こんにちは！2022年9月より小値賀の学校給食に関わっております。

小学校・中学校、職員を合わせて約160食前後を他の調理員のみなさんと協力しながら作っております。

8月にインターン制度を利用して町立診療所にも1か月ほどお世話になりました。

出身が関西の滋賀県なので、関西弁は抜けそうにありませんが…。小値賀で耳にする方言が面白いと感じています。小値賀内でも地区によってすこしニュアンスが違ったりするみたいなので、たまにどんな意味なのか？わからなかったりしますが、それがまた新鮮で楽しかったりもします。

そして、給食に入って驚いたのが人数です。各学年1クラス!! しかも30人もいない。でも、その分のびのびしていいな～とも思いました。生徒さんとの触れ合いは給食の受け渡しの時などで少ないですが、ちょっとした時間でもほっこりします。

給食は時間が決まっているので、正確に素早くと思っていますがマイペースな私なので慣れるには～大変だ～と感じつつ他の調理員さんもいらっしゃるの、協力しながら頑張っています。

給食施設は、常に衛生的に作業をしているので、髪の毛1本でも落ちていたら直ぐに撤収!! です。コロナ禍で大変ですが、マスクに手洗いは常に実践しているところですが、何事も予防は念入りにしたいものです。



## 田 幹夫（ハウスマスター）

春の陽光が輝き出しました。小値賀町のふるさと留学事業も今年度で3期目に入ります。昨年度の留学生は皆さん卒業し、また新しい留学生で春を迎えます。

昨年度を振り返りまして、もっとも私は11月からの加入ですが、それは土壌づくりの日々でした。掘り起こされたばかりの土に栄養を与え、水を与え、陽光と風が作物を育てても、根付くには数年もの時間が必要です。

このふるさと留学事業は、息の長い事業です。元々は少子化が進むことで、北松西高校の存続が危ぶまれ、若年層の人口を増やして行くという目的があります。地域にとって、若年層の厚さがあればそれは活性化に繋がります。幼稚園を眺めていても、心が休まりますよね。モリモリと食べる子供たちの姿は、見ていて勇気づけられますよね。

私たちハウスマスターは、日々そういう子供たちと一緒に生活をしています。子供たちはまだ成長過程で、心に真っ白なキャンパスを持っています。私たちはその布地に色んな経験を描き上げて故郷に戻って欲しいのです。そして小値賀島の皆さんも、留学生に声をかけたり話をしたりしてあげて欲しいのです。驚いて返事ができなかったり、戸惑うこともあるかと思いますが、しばらくはご堪忍ください。残念ながら都会では、知らないひとは無視をするように指導されています。

何気ない挨拶ができるように子供たちの心が開けば、それが彼らの絵筆になると思います。この数年来、コロナウイルスという災厄に、世界中が内向きに閉じこもっています。しかも都会での息苦しさは、島ののどかさからは大きな隔たりがあります。春からは、窓を開けて、新しい風を入れてみたいと思います。



## 団 幹夫（ハウスマスター）

### ◎第2期ちかまる寮スタート

梅を先駆けに桜が舞って春が訪れています。もう新緑が芽吹き始めている時節です。この4月からふるさと留学施設『ちかまる寮』は新しい留学生と新しいスタッフに囲まれています。

このふるさと留学事業は、学校と寮と地域の三位一体で留学生を支えています。その地元の代表として、新ハウスマスターにおじちゃんとおばちゃんが腕まくりして参加して頂いております。亀の甲より歳の功、人生の先人たちに学ぶ1年になりそうです。

そのなかに元気な中学1年生の留学生3人が来島してくれました。これから大輪の花に育ててほしい。私たちは肥料になります。



## 第3期ふるさと留学生を紹介します！

しま親型留学生として新小学6年男子児童が1名、入寮型留学生として新中学1年男子生徒2名、女子生徒1名の計4名の留学生が小値賀町での生活を始めました。

しま親型留学生は浜津地区のしま親宅で、入寮型留学生は笛吹在地区のちかまる寮で、しま親さんやハウスマスターほか寮運営スタッフとともに過ごしています。

町民皆様におかれましては、離島の生活に憧れ、自分の力で頑張ろうと決意して小値賀に来てくれた留学生を小値賀の子どもたちと同様に温かく見守っていただき、時には話しかけていただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

### しま親型留学生



マエオオマス コウダイ  
**前大 昞大**  
出身地 沖縄県与那国町  
学 年 小値賀小学校6年生  
趣 味 釣り  
好きな教科 体育・算数・書写  
頑張りたいこと・  
やってみたいこと  
釣りや野球をしたい。  
勉強も頑張りたい。

### 入寮型留学生



イタバシ コウタ  
**板橋 煌太**  
出身地 神奈川県横浜市  
学 年 小値賀中学校1年生  
趣 味 体力づくり  
好きな教科 体育・英語  
頑張りたいこと・  
やってみたいこと  
牛の世話・釣り・  
友だちづくり

### 入寮型留学生



ワダ セリナ  
**和田 芹波**  
出身地 千葉県千葉市  
学 年 小値賀中学校1年生  
趣 味 絵を描くこと  
好きな教科 道徳  
頑張りたいこと・  
やってみたいこと  
釣りしたい！

### 入寮型留学生



スギヤマ ノゾム  
**杉山 望**  
出身地 千葉県習志野市  
学 年 小値賀中学校1年生  
趣 味 大相撲観戦  
好きな教科 体育  
頑張りたいこと・  
やってみたいこと  
釣り・牛の世話・  
海潜り

# 地域おこし協力隊活動記録 Vol.28

## 小出 静（動画情報発信）

【YouTube 動画配信】

\* 4/17 「お見送り2022春」

今年もお見送りの季節がやってきました。小値賀に赴任して、小値賀が大好きになって、涙ながらに旅立っていく方々や、小値賀で育った学生さんが、笑顔と涙の中で巣立っていく姿を取材して、応援する気持ちや寂しい気持ち、そして感謝の気持ちが溢れてきました。

\* 4/28 「体協野球部県大会②」

臨場感を楽しんでもらおうと編集したら、3部作になってしまいました。特に野球好きな方には、じっくり楽しんでいただけたと思います。高齢化が進む小値賀町において、若い人達がいきいきとスポーツを楽しむ姿を感じていただきたいです。第3弾完結編をお楽しみに!!



## 橋本尚子・岡田ゆかり（納島）

小値賀町の皆さま、いかがお過ごしですか。春も過ぎ、気づけばもう6月です！

納島では、民泊申請が下り、民泊を開始します☆（うまくいってれば。笑）

また、体験農業にも力を入れようと考えておりまして、体験用田畑として協力隊の田んぼと落花生畑を創りました👉

この体験田畑で収穫体験を行います!!!!!!

田んぼは、梅雨との相談になりますがお盆の前後、落花生は8月末～9月頭に収穫予定です。

また、日が近づきましたら、チラシ、もしくはSNSにての宣伝をしますので、納島にきたことない方はこの機会に是非遊びに来てください！

新たな取り組みで、皆さんに助けてもらってばかりですが小値賀の方とも連携をしながら楽しんでできればと思っています。今後とも納島協力隊をよろしくお願い致します🙏♂

\* 4月の作業の写真です👉

奥がお世話になっている島民さんで手前が私です!!（自慢気味。笑）まだまだ、ひよこにもなれていない卵です！



## 田 幹夫（ハウスマスター）

五月連休のことです。

ふるさと留学生みんなで野崎島遠足に行きました。

当日は見事な五月晴れで、紺碧の海に白波の波紋が寄せています。

私も小値賀島に移住してまずは島の海の豊饒さと、その透明な水質に驚きましたが、野崎島にはさらに驚愕しました。ぜひこの海を本土の子どもたちにも見せてあげたいという思いです。

今回の遠足を通じて、ふるさと留学生に感じてほしいものがありました。

それは自然の復元力と人間の継続する信念です。

この島は人間が居住しなくなって約四半世紀になります。かつての集落は土にかえりつつありますが、そのなかで新しい生態系として野生の鹿が集う島になっています。とても日本の光景とは思えないような景観があります。

次にこの島には旧野首教会があります。江戸時代から幕府の目を逃れるように信仰を繋ぎ、明治になって島民の蓄えを放出して建立された教会です。

先祖達の遺産を未来に繋げたい。その願いが営々と風雨に耐えて建っている。

そこにある人間の信念というものを少しでも留学生たちに感じてもらえたら幸いです。



## 橋本尚子・岡田ゆかり（納島）

小値賀新聞を愛読して下さっております皆さま、いつも隅々まで読んでくださいますて誠にありがとうございます！

小値賀での夏も、もう2回目の橋本です☆

最近、「納島Tシャツはどこで買えるの？」という言葉を目にします。

嬉しいお言葉で、橋本、感極まっております。

納島Tシャツについてですが、店舗での販売は準備が追いついておりません。。

なので、購入したい場合は、私に直接言っていただくか、インスタグラムの「@noushimap」か「@noushima\_ojika」からお問い合わせいただければと思います！

インスタもやってないよーという方は、納島に来てください！

あとは誰かに伝えていただければ、いずれ私の耳に入るかなと思います。笑

前回にはなかったのですが、今回はベージュのデザインがサイズを増やして販売しています♪

デザインは一番初めのロゴが少し小さくなった版です！

ゆるゆる販売しておりますので、気になるだけでもご連絡いただければ嬉しいです！



## 田 幹夫（ハウスマスター）

私の小値賀暮らしも半年を迎えました。

あるもので工夫する、という生活スタイルが身についてきたのか。土をこねて食器をつくったり、庭を畑にしてハーブや草花を育てたりと去年では想像もなかった生活を送っています。

留学生から「デザートが食べたい」という要望があるので、なら作るか！と思い立ちました。型やハンドミキサーなどの機材、ドライフルーツや粉糖などの材料を準備し、ケーキを作るようになりましたが、差入れを出来るようになるまでには、いろいろな練習と時間が必要でした。

何度も失敗を重ね、やっとの思いで差し入れが出来るレベルになりましたが、その間、恐ろしくて体重計に乗れず、完成祝いで勇気を出して乗ると・・・あまりにも驚愕し、自分自身に自転車で島1周のノルマを課しております。

朝方に私が自転車で漕いでいるのは、そういう事情です。



# 地域おこし協力隊活動記録 Vol.30

## 橋本尚子・岡田ゆかり（納島）

皆さん、この暑い暑い夏をいかがお過ごしですか？  
8月になるとお盆もあれば、稲刈りや落花生の収穫で大忙しです。

暑い中ではありますが、今年は納島で収穫体験ができればと思っています☆

納島に行ったことがない、落花生の収穫をしたことがない、稲刈りもしたことがないという方々！

せっかく小値賀に来たのですから、たまには泥を触ってみませんか？

たくさんある休みの中で1日くらいいいかと思ってくださる方は是非参加していただければ嬉しいです👍



<納島ひまわり 7月撮影>

## 困 幹夫（ハウスマスター）

島民総出の海浜清掃を終えて、ちかまる寮の寮生たちと海遊びに行くことが多くなっています。透明度の高い水質なので、海水浴場であってもシュノーケルでかなりのお魚の観察ができますね。この海に魅せられたか、あるいは寮生活が楽しいのか。

寮生の子供たちは、夏休みが始まってもすぐに帰省しないで、原爆の日の平和学習を受けます。長崎県ならではの教育を受け、海浜清掃などの地域の行事に参加した彼らは、若くとも「郷に入れば郷に従う」という日本人の美徳も守っているようです。

さて、来期のふるさと留学生募集が始まりました。小値賀町のホームページなどで公開していますので、お知り合いの方などで、ご興味がある方がいらっしゃいましたらハウスマスターや教育委員会にご相談ください。

また、地域おこし協力隊を卒業した小出さんに、ふるさと留学の動画を作成いただきました！下記QRコードを読み込んでいただくか、小値賀町ホームページ「小値賀町ふるさと留学」のページ上の動画リンクからご視聴ください。

前回からの引き続きですが、夜勤明けであろうとも島内一周のサイクリングは毎日継続しております。さらに毎日海にも入っています。人生でこれほど日焼けしたのは中学生ぶりではないかと思う、還暦への上り坂です。



YouTubeチャンネル名：おぢか地域おこし協力隊

【小値賀町】ふるさと留学／小さな島の学校に留学してみませんか？



# 地域おこし協力隊活動記録 Vol.31

## 橋本尚子・岡田ゆかり（納島）

皆さん、気づけばもう9月ですね。

まだまだ暑い日が続いておりまして、協力隊もバテております。

9月と言えば、納島ピーナッツもお盛んです！

作り手も減ってきてしまった納島ピーは幻となってきております！

幻になってきているピーたちですが、茹でピーも煎りピーも絶品ですので、手に入れた方はじっくり味わっていただければと思います✧



## 田 幹夫（ハウスマスター）

小値賀島に真夏の風が渡ります。紺碧の海に白波がたち、波が岩礁を洗う夏の日々です。教育長の操船で、寮生たちと島を一周しました。毎日自転車で島内を一周していますが、海上から眺める島は新鮮なものでした。切り立った断崖に、のちに藍の洞窟があることを知り、機会があれば来年は留学生とともに行ってみたいものです。

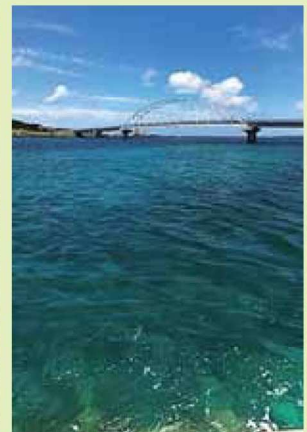
海にも毎日のように通っていますが、そこで気が付いたことがあります。

海水浴場にも関わらず、遠浅の浜辺の海底に空き缶やペットボトル、プラスチック製のゴミ等がほとんど落ちてないことです。

そこは魚たちの楽園のような光景です。ハコフグやハリセンボン、ヒラメが砂地を蹴立てて逃げていくのを微笑ましく眺めています。

先祖から守ってきた海を、大切に次世代に繋いでいく。

この海の美しさは島民の心の鏡だと思います。



## 困 幹夫（ハウスマスター）

寮生の夏休みは、部活や宿題、それぞれの実家への帰省など忙しい日々ながらも、元気に楽しく過ごしていました。

この夏を彩る島暮らしイベントとしてダイビング体験を「おぢか海旅マリンサポート」の山本さんの協力のもと、実施しました。

当日は8月後半の炎天下で、水温はやや高め。風の流れを見て、赤浜海岸に案内してくれました。寮生は、慣れない装備に悪戦苦闘しながらも今から始まる体験に胸を躍らせていました。

小一時間ほどの海底散歩でしたが、体験後に「最高でした！」と話す寮生の輝いた表情がこの夏一番の思い出になりそうです。



新  
コーナー

## ふるさと留学ってなんばしよっとね??

小値賀町で実施しているふるさと留学制度をご存知でしょうか？

### 【目的】

ふるさと留学制度は、町外の児童・生徒を留学生として受け入れ、留学生に島の子どもたちとの生活や島暮らしの体験を通して、豊かな人間形成と小値賀町を第2のふるさととして、郷土愛を育む事業を実施し、地元の子どもたちの教育の充実と向上、関係人口の創出を図ることを目的としています。

令和4年度までの3年間で延べ8名を受け入れ、今年度は小学6年生1名、中学1年生3名の計4名を受け入れています。

ふるさと留学制度は今年で3年目を迎えますが、町民のみなさまにもっと知っていただきたいと思っています。毎月連載していきたいと思うので、疑問に思っていることなどがありましたら、下記事務局にお問い合わせください。

次号は「目指すふるさと留学とは」について掲載したいと考えています！

小値賀の子ども達と同じように、留学生も小値賀町の宝として、島に学び、島と共に成長していく環境を整備していきますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先：教育委員会事務局 教育総務係 赤波江  
電話：0959-56-3838

# 地域おこし協力隊活動記録 Vol.33

## 橋本尚子・岡田ゆかり（納島）

気づけばもう、11月です。2022年も残り2ヶ月で終わります。

今年も猛スピードで過ぎていきます。。。

この2年、小値賀で年を越している私ですが、今年は地元に戻るのか、はたまた納島でのんびりと過ごしているのか、まだ決まっておられません。

地元に戻ろうかなという気持ちはあるものの、帰れば帰ったで気になる納島のこと。笑  
故郷が2つもあると嬉しさも寂しさも必ず出てくるもどかしさを感じる橋本です🙌

11月といえば、納島では中旬から下旬にかけてかんころ作りが始まります。

色鮮やかに並べられたかんころを見るとつまみ食いをしたくなります。笑

納島好きの私からすると納島のサツマイモは特に甘く絶品です🍠💡

そんな納島サツマイモで作るかんころ餅はさらに絶品です🍡💡

毎年、年末はどこもかしこもかんころ餅の嵐になりますね。笑

テレビでシチューのCMが流れば「もう冬かぁ」と感じることはありますが、その年の作物やかんころが並ぶ風景で「もう年末のかんころ時期かぁ〜」とイベントや季節を感じるのには心がホッとします。

テレビもいいけれど、実際に体感することには敵わないですね。👉

さぁ、今年もかんころ餅を私の胃袋にしこたま迎え入れるために、今から胃袋を広げておく準備しておきましょうかね🍡👉

## 田 幹夫（ちかまる寮ハウスマスター）

季節が秋から冬に移り行こうとしていますが、皆様にとってはどのような秋になったでしょうか？

留学生は島暮らしの体験として9月25日に陶芸体験を行いました。

小値賀の特徴的な赤土と島外の土を配合された土で、お皿と飾り皿、箸置きを作りました。仕上がりが楽しみです！

私自身も赤土研究会に所属しています。それでいくつか自作の器を持っています。料理も好きなので、その上に盛り付けては悦に入っています。

私が思うのは、この赤土が作物を育て、牛などの家畜を育み、さらには料理を彩る器にも姿を変えて、生活を支えてくれているということです。

土を介して命が紡がれていると感じる一日でした。



## ふるさと留学ってなんぼしよっとね？ Vol.2

### Q1. 目指すふるさと留学とは・・・？

A1. ふるさと留学は、北松西高校の存続問題を発端に平成26年度から検討、研究が開始されました。研究を重ねていく中で、いきなり高校生からの受入れではなく、小中学生から受入れることが、安定的な児童・生徒数の確保と北松西高校への進学に繋がるのではないかと考えました。小値賀を知り、島暮らしを楽しむことで、留学生にとって小値賀町が、将来大人になったときに「ただいま」と言って帰ってくるような『第2のふるさと』になっていくことを目標としました。また、人と人とのつながりが濃い小値賀町で、留学生が地域や町民と繋がることで学び、地域活動や小値賀町の自然と共にある生活を体験することで、「感謝の気持ち」や「自立・共生・協調」といった『生きる力』が育まれることが期待でき、このことは小値賀の活力につながります。留学生だけではなく、小値賀の子ども達も共に成長し、小値賀町全体が輝きを増していくことを目指しています。次号は「留学生の応募条件・決定について」を掲載予定です。

お問い合わせ先：教育委員会事務局 教育総務係 赤波江  
電話：0959-56-3838





## ふるさと留学ってなんぼしょっとね? Vol.3

### Q2. 留学生の応募条件・決定について・・・

A2. ふるさと留学を希望するためには、下記のとおり応募条件があります。

- ・対象学年
  - ①入寮型留学生：留学年度に中学1年生から高校1年生までの生徒
  - ②しま親型留学生：留学年度に小学5年生から高校1年生までの児童・生徒
- ・学校生活
 

親と離れても毎日学校に通えること。
- ・理解度
  - ①留学前年度中に、体験授業等に参加し、小値賀町の教育や暮らしを理解すること。
  - ②小値賀町の離島特有の生活環境について、実親及び留学生が理解していること。
- ・本気度
 

留学生は、住民票を小値賀町に移し、留学期間中は町民となること。

留学生の決定については、1次審査として書類審査を、2次審査として面接審査を行っています。また、高校生から希望する場合は、入試で合格することが条件となりますが、申込時に保証人が必要となるため、保証人審査を行います。

1次審査では、家庭や学校の様子を中心に審査を行います。2次審査においては、1次審査で気になったことや、留学生として求められることを伝え、親元を離れることに対して覚悟が出来ているかなどを審査しています。また、保護者も希望者と同様に審査の対象となっています。

最終決定については、ふるさと留学協議会で審議し、町長が決定します。

お問い合わせ先：教育委員会事務局 教育総務係 赤波江  
電話：0959-56-3838



## やっぱよかね!小値賀!!

このコーナーは、移住された方をご紹介します、町民の方と移住者の方を「つなぐ」架け橋となるようお願い設置しました。

中富 裕美さんは福岡県出身で、2021年10月に小値賀町へ移住されました。

#### ○移住のきっかけは何ですか?

何度か通ううちに、自分に似合う場所だと感じたからです。

20~30年後の自分を想像したとき、故郷や長く暮らした福岡の街ではなく、この島でおばあちゃんになっている姿がいちばんしっくりきたので、移住を決意しました。

#### ○小値賀町のすきなところは?

人とのつながりや島の規模感。  
ご近所さんには、まるで家族のようなお付き合いをさせていただいています。

『今日は、夕日がきれいそうだな』と思ったら島の反対側の絶景スポットまで車で数分。どこへ行くにも近い島の規模感も魅力的です。

#### ○中富さんより町民の方へひと言!

役場の産業振興課で『えらかさるんな』(消費生活相談員)を担当しております。  
不安に感じたり、困った事があったらお気軽にご相談ください!



中富 裕美さん

詳しくはこちら!▷



## ふるさと留学ってなんぼしょっとね? Vol.4

### Q3. 留学生の保護者（実親）とハウスマスター・しま親の関係性について・・・

A3. 実親には以下のような義務があります。

- ・ふるさと留学制度を理解し、留学生の扶養義務のすべてを委ねることなく、ハウスマスター又は、しま親と連携して留学生を養育する。
- ・実親は、各学期に1度は来町し、学校、ハウスマスター又は、しま親と面談を行う。

ハウスマスターやしま親は、保護者代理として留学生を養育しますが、定期的の実親と連絡を取って留学生のことを理解し、寄り添ったサポートを行うように心がけています。授業参観や部活動の保護者会には、ハウスマスターやしま親が参加することが多いですが、運動会や学習発表会などの大きな行事には、実親や親族の方が参観に来ることがあります。

新年も、ふるさと留学生は、小値賀の生活と学校生活を楽しみながら頑張ることと思いますので、町民みなさまの温かいご支援のほどよろしく願いいたします。



お問い合わせ先：教育委員会事務局 教育総務係 赤波江  
電話：0959-56-3838



## やっぱよかね!小値賀!!

このコーナーは、移住された方をご紹介します、町民の方と移住者の方を「つなぐ」架け橋となるようお願い設置しました。

羽鳥 麻里さんは群馬県出身で、2021年11月に小値賀町へ移住されました。

#### ○移住のきっかけは何ですか？

コロナ禍で海外を諦めていたなか、友人に離島を勧められ、2021年夏に友人と小値賀町へ訪れ、フィーリングで小値賀町に住みたいと思いました。

#### ○小値賀町のすきなところは？

おすそ分けで食べ物をたくさんいただけること!いただいた食材で何を作るか考えることが楽しいです!みなさまからのいただきもので小値賀町に来て太りました!!

#### ○羽鳥 麻里さんより町民の方へひと言!

移住してから約1年。色々な方からの支えがあり楽しく過ごすことができています!夕食に誘っていただいたり、体調を崩した時は「大丈夫かあ?」など連絡をいただいたり、家族のように心配してくださる人が近くにいる、とても救いになっています。

優しい方々が集まる島に来て良かったです!いつもありがとうございます!



羽鳥 麻里さん

詳しくはこちら!▷



## 困 幹夫（ちかまる寮ハウスマスター）

現在の留学生にとっては初めての冬となりました。

一昨年着任した私は、常に吹き寄せる海風の寒さに驚いたものでしたが、今年は肩透かしのように元旦から温かい日が続いています。如月に入った現在は、重く澱んだ曇天が陽を覆う日々が続いていますが、時折に姿を見せる日輪にありがたさを噛み締めています。

さて、今年の冬の思い出といいますと年末の雪の日に、皆で実施した「ちかまる寮の大掃除」と「季節外れのバーベキュー」です。

留学生たちには、留学を後押ししていただいている方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後も頑張ってもらいたいと思います。



## ふるさと留学ってなんぼしよっとね？ Vol.5

このコーナーは、小値賀町が取り組んでいる「ふるさと留学」について分かりやすく説明しています。今回のテーマは「ハウスマスター」です。

### Q: ハウスマスターって何をしている人？

A: ハウスマスターの主な業務は次のとおりです。

- ・寮生の見守りや困りごとの相談を受けるなど、留学生に寄り添ったサポート
  - ・寮の清掃や備品の管理
  - ・食料の買出し
- などを行っています。

### Q: ハウスマスターって何人いるの？

A: 令和5年1月末現在、ハウスマスターは、地域おこし協力隊1名、有償ボランティア6名の計7名で、3交代制をとっています。

【3交代制の時間割】

- ・9:00～15:00、15:00～20:00、20:00～9:00（仮眠時間 23:00～6:00）

### Q: ハウスマスターって大変なの？

A: 思春期という多感な時期でもあり、色々な課題がありますが、定期的に関係者でミーティングを行ったり、研修を積み重ねながら、留学生をサポートしています。

### Q: ハウスマスターに申し込みたいときはどうすればいいの？

A: ハウスマスターは、常時募集を行っていますので、関心のある方は、是非お問い合わせください！



お問い合わせ先：小値賀町教育委員会 0959-56-3838

## 困 幹夫（ちかまる寮ハウスマスター）

1月下旬、今季一番の寒波に小値賀島は見舞われました。氷点下の朝を幾つか迎え、積雪こそ少なかったものの、船便は全便が欠航して地元商店の生鮮食料品の棚は空になったそうです。

路面が凍結した日もありましたが、学校は通常通り行われ、留学生たちは転ばないようにと歩幅を狭くしながら登校しました。

1月26日には、小中高合同持久走大会が行われました。

小学生の部はグラウンド不良のため延期となりましたが、中学生の部は小雨の中、決行されました。連日続いた寒波は、幾分か抑えられましたが、朝から氷雨に見舞われており、私をはじめ各ハウスマスターは気が気でなくて、島内放送に耳を傾けておりました。

沿道には仕事の手を休めて、多くの方々が応援に駆けつけてくださっていました。島民が手を取り合う大切な行事なのだなあと、深く思いました。



## ふるさと留学ってなんばしょっとね？ Vol.6

このコーナーは、小値賀町が取り組んでいる「ふるさと留学」について分かりやすく説明しています。今回のテーマは「しま親」です。

### Q: 「しま親」ってなに？

A: 町内の家庭で留学生を受け入れていただいている家庭を「しま親」と呼んでいます。現在、小値賀町のしま親さんは1軒で、ふるさと留学協議会が委嘱し、小学6年生1名の留学生を受け入れています。

### Q: 「しま親」は何をしているの？

A: 留学生は、ちかまる寮の寮生と違い、しま親宅の生活を体験しながら学校生活を送ります。親子のような関係を築くために、時には厳しくしかることもありますが、愛情をもって留学生と共に生活をしています。

### Q: 「しま親」に興味があるけど受入れに必要なことはある？

A: 留学生の使用予定の部屋を見させていただくことがありますが、勉強机など留学生にとって必要なものは保護者と町が準備します。留学生を養育するためにかかる費用につきましては、町から委託料をお支払いします。また、留学生のおこづかいや学校でかかる給食費などは留学生の保護者が負担します。

ハウスマスター同様、「しま親」も常時募集を行っていますので、関心がある方は、是非お問い合わせください！



お問い合わせ先：小値賀町教育委員会事務局 赤波江 0959-56-3838